



HAROLD LÓPEZ-NUSSA TRIO

アロルド・ロペス・ヌッサ トリオ



江藤良人



高瀬 裕



岡 淳



森下 滋



Special Guest:
akiko

JAZZ FOR TOHOKU SPECIAL MEMBER

ジャズフォー東北スペシャルメンバー

公益財団法人宮城県文化振興財団設立25周年記念

Miyagi Autumn

Jazz Live

アロルド・ロペス・ヌッサ トリオ
ジャズフォー東北スペシャルメンバー

2017

アロルド・ロペス・ヌッサ トリオ &
ジャズフォー東北スペシャル
セッション

9.9 (sat) 17時30分開演
(17時開場)

東京エレクトロンホール宮城
大ホール

入場料:S席3,000円、A席2,000円、B席1,000円
発売日:平成29年6月3日⊕ ※未就学児入場不可

プレイガイド:仙台三越、藤崎、
河北チケットセンター(平日10:00~14:00まで Tel.022-211-1189)、
東京エレクトロンホール宮城、全国セブンイレブン

問い合わせ先:
東京エレクトロンホール宮城 Tel.022-225-8641

主催:公益財団法人宮城県文化振興財団・河北新報社・エフエム仙台・宮城県

特別協力:公益社団法人定禅寺ストリートジャズフェスティバル協会
協力:(株)キングインターナショナル、(株)ブルーノート・ジャパン、宮城県朝日会

連携:公益財団法人 岩手県文化振興事業団・公益財団法人 福島県文化振興財団
アロルド・ロペス・ヌッサ トリオ後援会

芸術
銀河

Profile

アロルド・ロペス・ヌッサ・トリオ

キューバの人々は今も東北震災を悲しんでいます。私たちの音楽で皆様の心が癒されることを願っています



アロルド・ロペス・ヌッサ
Harold Lopez Nussa

Piano

1983年、キューバ・ハバナ生まれのジャズ・ピアニスト。著名なピアニスト、エルナン・ロペス・ヌッサを叔父に、ドラムの大家ルイ・ロペス・ヌッサが父親という音楽一家に育ち、8歳で音楽院に入学。2005年のモントルー ジャズ フェスティバルのピアノソロ部門で優勝、一躍世界に踊り出る。ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブのヴォーカリスト、オマーラ・ポルトゥオンドのツアー・メンバーとしても活躍し、ダヴィッド・サンチェス/クリスチャン・スコットらの『ナインティ・マイルス』にも抜擢される。2016年、弟のドラマー、ルイ・アドリアン・ロペス・ヌッサ、セネガル出身のベーシスト、アルーン・ワデらによる自身のトリオのアルバム『エル・ピアッヘ』を引っ提げて、2016年『第15回 東京JAZZ』に出演。満員の観衆を大熱狂させるパフォーマンスを繰り広げる。



ルイ・アドリアン・ロペス・ヌッサ
Ruy Adrian Lopez Nussa

Drums

1986年、キューバ・ハバナ生まれ。ドラマー、アロルド・ロペス・ヌッサの弟。影響を受けた人物：ブライアン・ブレイド、トニー・ウィリアムズ、ルイ・ロペス・ヌッサ（父）。兄のアロルド同様、ピアノから音楽の英才教育を受けた。その後、尊敬する父が打楽器奏者だったことから、ドラムに転向。天性の才能を発揮する。世界トップクラスのアーティストがステージに立つことで知られるカーネギーホールや、リンカーンセンターでの、アロルド・ロペスなどとの演奏は全米でも高い評価を受けている。「ジャズメンが、他に抜きん出て最高のレベルに達するには、努力以外に持って生まれた才能が必要だ。特にドラマーは」ドラムの評価に厳しい音楽評論家・寺島靖国氏の持論である。その氏が、ルイの演奏を聴き終えた瞬間、「こいつは天才だ!!」と唸った逸話が、ルイの凄さを証明している。ステージで見せる兄との共演は、観客を沸かせずにはおかない。



アルーン・ワデ
Alune Wade

Bass/Vocal

1978 年、セネガル生まれ。父親がセネガル軍オーケストラの指揮者をしていた影響で、6 歳の頃よりピアノ、ギター、ベース等を学び、13歳でベースに専念することを決意。15 歳で地元ダカールのバンドで演奏を始め、17歳より父親のオーケストラでも演奏する。わずか18 歳でアフリカ大陸を代表する歌手の一人であるセネガルのスター、イスマエル・ローのバンドに抜擢され、一躍注目を集める。ローのバンドには8 年間に在籍し、世界中をツアーしたほか、『Jammu Africa』(1999 年)、『Dabokh』(2001 年)の2 枚のアルバムに参加している。これまでに様々な著名音楽家と共演している。2006 年、アフリカの音楽とジャズを融合したファースト・リーダー・アルバム『Mbolo』を発売。2011 年には『Ayo Nene』を、2015 年にはアロルド・ロペス・ヌッサとのコラボレート作『Havana Paris Dackar』を発売している。また、マーカス・ミラーの『アフロディジア』(2015 年)にはヴォーカリストとしてゲスト参加している。

ジャズフォー東北スペシャルセッション

2011年3月11日に発生した東日本大震災より早6年以上が経過いたしました。家族や友人、家や仕事などを失った悲しみは計り知れなく、心の傷が癒えない方も沢山いらっしゃるかと思います。また、いまだ狭い仮設住宅での生活で不自由な思いをされている方も多数いらっしゃるかと思います。私達のライブを聴いていただき少しでも笑顔や安らぎ、温もりが生まれたら。そんな想いからこのプロジェクトがスタートしました。私達ジャズフォー東北は東京近郊のジャズミュージシャンで運営しており、いまだに50回のツアーを行い、参加したミュージシャンは50名を越えました。当初は避難所の横など、最近では仮設住宅の集会所やイベント、保育園や幼稚園など、演奏する場所も変わってきました。活動の目的としては、現地に行って演奏するだけでなく、現状や変化を自分の目で見て伝えることなども含まれています。また、私達は必要とされる場所が無くなるまで、資金の続く限り活動していきたいと思っています。

岡 淳	Makoto Oka	一橋大学在学中より宮ノ上貴昭&スモーキン、池田芳夫カルテットなどで、ジャズシーンにデビュー。1990年に米国ボストンのバークリー音楽大学より奨学金を得て渡米。同学にて2年間学んだ後ニューヨークに移り2年間の武者修行、計4年間をアメリカで暮らす。94年帰国し、日本国内での活動を再開。自己のバンド[KAIMA]やサクソフォビア、酒井俊、綾戸智絵など様々なバンドやセッションで演奏する他、akiko、orange pekoe、平井堅、八代亜紀等のレコーディングに参加。現在はサクソフォビア、punch!、久米雅之5、奥平真吾The New Forceのメンバーとして演奏する他、女優室井滋の「しげちゃん一座」にも参加している。2013年に『音楽水車プロジェクト』を立ち上げ、音楽を奏でる水車の制作に取り組んでいる。同プロジェクトで神戸ビエンナーレ2013「ミュージック&アート・オン・ステージ・コンペティション」準大賞受賞。2014年より岩手県一関市千厩町において「とびがもり水車音楽祭」を開催。CDアルバムとしてMagnetic Moments(2011)、Live at Kakuzo Hall(2013)、Live in Mexico(2014)等、著書として「テナーサクソスのしらべ」、「楽しい3管アンサンブル」、「超絶テナーサクソス」、「ジャズテナーサクソスのしらべ」がある。 http://www.oka.net/
森下 滋	Shigeru Morishita	1975年横浜生まれ。3歳のときよりクラシックピアノのレッスンを開始する。中学生よりジャズピアノを始め数々のコンテストに入賞する。慶應義塾大学入学時より佐山雅弘氏に師事、プロ活動を開始する。綾戸知恵を初め様々なジャンルのトップ歌手からの伴奏のオファーは絶えない。2007年米国カリフォルニア州での第50回モントレージャズフェスティバルに自己のバンドで出場。海外公演も多く映画や演劇など作編曲家としても評価が高い。ヴァイオリニストの真部裕、チェリストの伊藤ハルトシとトリオ、ANOVIOを結成して、それぞれのオリジナル楽曲をメインに活動中。世界的ジャズ歌手のサリナ・ジョーンズの日本専属ピアニストとして指名され、日本公演と海外公演のピアニストを長年務めている。また、グスベルミュージックの演奏者及び指導者としても卓越した才能を発揮して、日本のみならず、アメリカ、アジアでも演奏やワークショップを行う。
高瀬 裕	Hiroshi Takase	1970 年 3 月 28 日、広島県生まれ。栃木県大平町育ち。15 歳頃よりエレクトリックベースを弾き始め、中学～高校時代はハードロックバンドで活動した。大学在学中にジャズに目覚め、コントラバスを始める。鈴木 淳氏、杜 哲也氏(音楽理論)に師事。大学時代はジャズ研に所属せず、御茶ノ水NARU でアルバイトをしながら、毎日のように一流プレイヤーの演奏を生で聴く機会を得る。この経験がプロになることを決意させたと同時に、演奏活動に対する姿勢に大きな影響を与えた。卒業後、プロとしての活動を開始。ブルーヴ感を大事にしつつも、ていねいなプレイを心がけている。コントラバスの特長である、深みのある美しい音色を目指している。2002 年より新日本フィルの森園康一氏に師事。2007 年、森下滋クインテットでMonterey Jazz Festival に出演。2010 年、NHK 教育『スコラ 坂本龍一 音楽の学校 ジャズ編』に田中邦和JazzTrioで出演。坂本龍一、山下洋輔と共演し好評を博す。現在は自己のカルテットやENCOUNTER(堀秀彰、浜崎航)をはじめ、清水絵理子(pf)とのDUO、藤陵雅裕グループ、久米雅之グループ、チャイチーシスターズ、akiko、広瀬潤次(ds)とのDUO ユニット等、いろいろなグループで活動中。 http://www.takasehiroshi.com/
江藤良人	Yoshihito Eto	1973 年 4 月 14 日、三重県鈴鹿市生まれ。10 歳からドラムを始める。'94 年 土岐英史(as)セッションでデビュー。'96 年から辛島文雄(p)トリオへの参加をきっかけに本格的にプロ活動を開始。以後、池田芳夫(b)DADA、中本マリ(vo)グループ等に参加。'98年、渡辺貞夫(as)バンドに参加。コンサート、テレビ、ラジオに多数出演。モントルー・ジャズ・フェスティバルに出演。'99年 綾戸智恵(vo) "Friends" ツアー、アルバム制作に参加。'02年、初リーダーアルバム『ANIMAL HOUSE』をリリース。J-POPユニット "orange pekoe" のレコーディング、ツアーに参加。'05 年、2作目のリーダーアルバム『RAY』をリリース。'06年～'15年 "Yuji Ohno & Lupintic Five"に参加。'11年、3枚目のリーダーアルバム『Three-Act Play 』をリリース。'12年、井上陽介 (b)、田中邦和(ts)と『Karate Chops』を結成 '15年、4枚目のリーダーアルバム『KarateChops』をリリース。また、日野皓正(tp)、山下洋輔(p)、佐藤竹善(vo)、Lee Konitz(as)、Barry Harris(p)、Eddie Gomez(b)等と共演。現在は自己のグループの他、井上陽介(b)カルテット、石井彰(p)トリオ、岡淳(ts)punch!、the EROSに参加。また様々なセッションで活動中。柔らかくしなやかな、繊細さとパワフルさを兼ね備えたドラムプレイが特徴。共演者に絶大な信頼感をもたらす。
akiko		2001年、名門ジャズレーベル「ヴァーヴ」初の日本人女性シンガーとしてユニバーサル・ミュージックよりデビュー。既存のジャズの枠に捕われない幅広い音楽活動で人気を博し、現在までに22枚のアルバムを発表。これまでに「ジャズ・ディスク大賞」や「Billboard Japan Music Award」を始め、数々のミュージックアワードを受賞。2003年にはエスティー・ローダーより日本人女性に送られる美の賞「ディファイニング・ビューティー・アワード」を授与される。アルバムプロデューサーやコンピレーションCDの選曲、執筆、アパレル・ブランドとのコラボレーションなど多方面で活躍。また、ボイス・ワークショップの開催や、アーユルヴェーダやヨガのワークショップ、国内外でのリトリートツアーなども不定期に開催している。デビュー15周年となる2016年にはアーユルヴェーダのコンセプトを元に5種類に分けた5枚組ベストアルバム『Elemental Harmony』をリリース。音楽性やファッション性のみならず、そのライフ・スタイルにも多くの支持が集まる。 http://akiko-jazz.com